

SATOYAMA EXPERIENCE

Sustainable Excursion Policy

SATOYAMA EXPERIENCE(以下 SE)は、持続可能なアクティビティの推進に取り組んでおり、このポリシーは SE の Sustainable Policy の 1 部です。

私たち現地のアクティビティ・プロバイダーが、サステイナブルツーリズムを推進していくことは、観光業界全体に大きく波及していくと考えられるため、非常に重要です。

アクティビティを開発し、提案する際には、ゲストの予算の範囲内で最も持続可能なパッケージを提供します。アクティビティを催行する際には、ポリシーに従って行動し、運営のあらゆる面で持続可能性を考慮し、持続可能な活動を行っている場所や施設等を優先して訪問します。またサステイナブルツーリズムを推進する旅行代理店と提携し、そのような旅を求めるゲストに SE のサービスを提案してもらいます。

持続可能なアクティビティの基本原則

SE のアクティビティでは、以下の基本原則に従ってアクティビティを開発し、ゲストに提供します。

1.適切なサービスと適切な価格

衛生的で安全であることはもちろん、ゲストの期待に応えうる快適なサービスを提供すること。また、ゲストの予算内で最も持続可能なオプションを選択し、アクティビティを構成します。

2.公正なビジネス

法、人権、経済・社会的平等、環境・動物保護など、公正なビジネス慣行に従って運営する。

3.地域環境・社会へのポジティブインパクトの最大化

持続可能な活動を最優先事項として、地域の環境や社会へのネガティブインパクトを最小限にし、地域の持続可能性に寄与できるよう最大限の努力をします。例えば、地域住民とアクティビティ参加者間の交流の機会を積極的に設け、地域の文化的価値の理解、共有を促す。地域の里山環境保全へのボランティアプログラムを企画する、など。

持続可能なアクティビティ開発・運営における考慮事項

◆使い捨てプラスチックの削減

SEのアクティビティでは、プラスチックの使用を最小限に抑えており、アクティビティに参加するゲストにはマイボトルの持参をお願いし、フロントにウォーターサーバーを用意しています。ペットボトルの使用は推奨しません。また使い捨てにならないアルミ製のボトルを販売しています。

◆廃棄物管理

SEのアクティビティでは、紙廃棄をなくすため、受付から事後アンケートに至るまで全てオンラインで行っています。アクティビティで出た有機廃棄物はコンポストに、プラスチックは分別しリサイクルします。

◆エネルギー効率

SEの主たるサービスは、徒歩または自転車で移動するアクティビティで、化石燃料及び電気によるエネルギー消費、CO2排出はありません。お客様の現地への移動は公共交通機関を推奨しています。

インドアプログラムやオフィスでは、省エネ電球やエネルギー効率の良い機器など、エネルギー効率の良い方法に従っています。使用していないときは照明や電気製品のスイッチを切るようなサステナブルルールにも定めています。

電気は、ハチドリ電力(非化石証書(FIT))を供給電力全量分購入することで、実質的に「100%自然エネルギー由来」「CO2排出量ゼロ」の電気を提供する電力会社)から購入しています。

◆現地調達

SEのアクティビティでは、フェアトレードと持続可能性の原則に基づいて生産された地元の食品を購入して、お客様に提供しています。アクティビティで訪問する店舗では、地元で生産された製品をお客様に紹介します。アクティビティで食事をする際は地域のレストランを利用し、特に地産地消の食材や地域の伝統食を扱う店舗を支援します。

◆生物多様性への配慮

SEのアクティビティでは、地域の生物多様性への悪影響を可能な限り抑えられるよう配慮しています。

◆本物の魅力を伝える努力

SEのアクティビティでは、地域の芸術、建築、歴史等の文化遺産の要素を積極的に取り入れ、それら文化遺産の本当の価値をお客様に伝えるガイドング、アクティビティ構成に努めています。

◆コミュニティへの貢献

SEは地域社会の生活と文化を尊重し、その継承の為に地域の人々と協力体制を構築します。SEスタッフは日常から地域の人々と積極的に交流し、アクティビティ内では地域の人とお客様が交流できる場をできる限り設定します。地域の人とアクティビティのお客様との会話や交流を促し地域の価値を共有できるよう努めます。

当社では、地域社会の知的財産権を尊重し、地域のイベントに積極的に参加、協賛し、地域の文化的取り組みにはクラウドファンディングを通じて寄付を行い、可能な限り地域社会に貢献しています。